

令和7年度「東京都感染対策リーダー養成研修事業」 ～公開講座（オンデマンド研修動画配信）のご案内～

本研修では、医療機関向けオンデマンド研修講義の一部を高齢者施設・障害者施設・助産所等を対象に公開講座として配信いたします。医療職に必要な感染対策のノウハウを身につけていただき、自施設における感染防止対策を施設全体で取り組むことに活かしていただきたいと考えております。ぜひ研修への参加をご検討ください。

研修目的：感染症、感染対策に関する基本的な知識・技術をアップデートして、自施設内の感染対策の取り組みを考え、実践できる人材を育成する。

対象施設：高齢者施設、障害者施設、助産所、診療所等

対 象 者：施設内の感染対策の役割を担う医療職

●実施内容：講義動画の配信

●視聴期間：令和7年5月30日（金）～令和8年2月28日（土）

※受講開始日より3カ月間（ただし2月28日を越えての視聴はできません）

●研修方法：オンデマンド配信により、講義動画をどの科目からでも受講できます。

申込者にはIDとパスワードを発行いたします。

※オンデマンド視聴に関しては、インターネットに接続し、ID・パスワードを入力して視聴していただきますので、PCまたはタブレット、スマートフォンが必要になります。

●申込期間：~~第1期：令和7年5月21日（水）～7月20日（日）~~※終了しました。

第2期：令和7年10月1日（水）～12月20日（土）

●受講料：無料

●定 員：500名 -応募者多数の場合、受講をお断りする場合がございます。

●申込方法：東京都受託事業「東京都感染対策リーダー養成研修事業 公開講座」
専用申込フォーム（URLまたはQRコード）からお申込みください。↓

【URL】https://www17.webcas.net/form/pub/tna_kansen/open_lecture



【申込・受講にあたってのお願い・ご注意】

●講義動画の視聴方法に関しては、ご登録のメールアドレス宛に別途送信・ご案内いたします。

●講義資料はご自身でダウンロードしていただけます。

●研修映像の撮影、録画、録音、画面のスクリーンショット、講義資料や詳しい内容のSNSへの掲載を固くお断りいたします

●研修受講用メールアドレスは、メール不達などのトラブルを防ぐため、携帯キャリアメール（例 docomo、au、softbank 等）および iCloud 以外でのご登録をお願いします。（Gメール、Yahooメール等推奨）

●登録したメールアドレスは、研修終了時まで変更しないようにしてください。

●お使いのメールボックスの「迷惑メール設定」「受信拒否設定」「指定ドメイン受信設定」等、設定内容をご確認のうえ、@tna.or.jp が受信できるようにしてください。

●受講証の発行はございません。あらかじめご了承ください。

オンデマンド研修動画一覧

※科目名の（ ）の数字は動画撮影年を表しています。

No.	科目	内容概要	分
1	感染の流行と感染管理の変遷（'22）	・医療関連感染症の予防と管理 ・感染管理の基礎となる概念、理論	30
2	感染の成立と予防に関する基本的考え方（'22）	・感染成立の連鎖 ・感染予防とガイドライン	30
3	医療関連感染微生物①（'22）	・病原微生物の分類 / 臨床微生物検査 ・検体検査の取り扱いと管理	20
4	医療関連感染微生物②（'22）	・グラム染色・血液培養検査 ・薬剤感受性試験とその判定基準・耐性菌	10
5	組織で取り組む感染管理と感染管理担当者の役割（'22）	・感染管理担当者に期待される役割 ・組織で取り組む感染管理 / 感染対策と倫理的配慮	50
6	病院が安全に運営されるために（'22）	・病院の理念と組織体制・危機管理体制について ・病院の危機管理・組織安全文化の確認 ・自施設の危機管理体制の評価	20
7	【事例紹介】アウトブレイクが起きたら病院はどうなる（'22）	・新型コロナ発生初期下のクラスター発生状況とその対応 ・発覚までの経過・アウトブレイク時の状況 ・病院機能再開に向けての取り組み	30
8	基本的な感染予防策の実践（'22）	・標準予防策について・手指衛生について ・個人防護具について	35
9	感染経路別予防策（飛沫・空気・接触）①（'22）	・飛沫予防策（インフルエンザ、COVID-19 を中心に） ・空気予防策（結核を中心に）	30
10	感染経路別予防策（飛沫・空気・接触）②（'23）	・接触予防策とは・具体的な接触予防策について ・接触予防策に必要な個人防護具について ・実際の接触予防策（ノロウイルス・多剤耐性菌）	30
11	医療関連感染予防策①（'22）	・血管内留置カテーテル関連感染予防策 ・発生機序・予防策とガイドライン・ケアバンドル	25
12	医療関連感染予防策②（'23）	・尿道留置カテーテル関連感染予防策 ・発生機序・予防策とガイドライン・ケアバンドル	15
13	医療関連感染予防策③（'22）	・人工呼吸器関連肺炎（VAP）とは ・発生機序・予防策・ケアバンドル / 診断基準・VAP サーベイランスの基準	30
14	医療関連感染予防策④（'22）	・手術部位感染（SSI）対策 ・SSI とは・SSI のリスク因子 ・推奨されている SSI 対策・手術室の環境整備	25
15	サーベイランス①（'22）	・医療関連感染サーベイランス / 総論・定義と目的・種類と特徴・方法 ・感染率（感染発生頻度）の測定方法・データ収集における留意点 ・感染症例の判定・サーベイランス結果のフィードバック	50
16	サーベイランス②（'22）	・微生物サーベイランス ・方法・効果的な取り組みとその実際	20
17	サーベイランス③（'22）	・手指衛生サーベイランス ・方法・効果的な取り組みとその実際	35
18	サーベイランス④（'22）	・尿道カテーテル関連感染サーベイランスの意義 ・サーベイランスの種類・判定基準 ・医療器具使用比、感染率の評価	25
19	施設内アウトブレイク時の対応（'22）	・アウトブレイクとは / アウトブレイク対応の柱：早期発見とゾーニング ・初動体制と施設内感染管理体制 ・アウトブレイクを未然に防ぐために	50
20	新興感染症に伴うメンタルヘルスクア（'22）	・新興感染症がメンタルヘルスクアに及ぼす影響 ・新興感染症に関わる医療従事者のメンタルヘルズサポートシステム ・新興感染症陽性患者（利用者）とその家族のメンタルケア	40
21	新興感染症のグリーフケア（'23）	・新興感染症感染者の終末期の対応 / 患者・利用者のケアの仕方 ・家族の対応の仕方（面会方法） / 職員の対応の仕方	30
22	洗浄・消毒・滅菌（'22）	・再生処理工程 / 洗浄・消毒・滅菌 ・再生処理工程の中央化	40

No.	科目	内容概要	分
23	ファシリティ・マネジメント①（'22）	・清掃・医療廃棄物管理・リネン類の取り扱い ・清掃と環境消毒について ・清掃・環境消毒に使用する消毒薬について、薬液の噴霧 ・高頻度接触環境表面水平面・垂直面の違い ・具体的な清掃方法と注意点	50
24	ファシリティ・マネジメント②（'22）	・感染経路と感染予防策の考え方 ・4つの感染経路・飛沫と飛沫核・エアロゾルの動態の違い ・空調・清浄度クラスと換気条件 ・メンテナンスの重要性・換気方式と換気の評価方法 ・換気を改善する具体的な戦略	30
25	職業感染と予防（予防接種含む）（'22）	・職業感染の概要・血液・体液曝露（針刺し）について・結核について ・ウイルス性疾患、ワクチンについて ・労災認定システムについて ・新型コロナウイルス感染時のサポートシステム	30
26	スタッフ教育（'22）	・医療法に基づいた法定研修について（年2回） ・院内感染対策研修の実践について / スタッフの健康管理	20
27	高齢・療養施設における感染対策（'22）	・高齢・療養施設における感染のリスク ・高齢・療養施設における感染予防策のポイント ・感染症の早期発見と対応 / 看護ケアの感染対策 ・有事に備える平時の取り組み / 加湿器の取り扱いについて	30
28	小児領域における感染対策（'22）	・小児領域における感染予防策のポイント ・病棟、外来での感染対策の実践 ・玩具の管理、面会、母子手帳について ・小児領域における医療関連感染のリスク	25
29	産科領域における感染対策（'22）	・産科領域における感染対策の特徴 ・産科領域における感染リスク / 産科領域における感染予防策のポイント ・コロナ禍における産科領域の感染対策	25
30	精神科領域における感染対策（'23）	・精神科領域の特殊性 / とるべき対策 できること・難しいこと ・感染リスク / ・対策のポイント	30
31	外来における感染対策（'22）	・外来における医療関連感染のリスク / 外来における感染予防策のポイント ・標準予防策・経路別予防策	25
32	透析室における感染対策（'22）	・透析患者における感染対策の必要性 ・透析室における感染管理上の特殊性 / 透析室における感染対策のポイント	20
33	内視鏡室における感染対策（'22）	・内視鏡の特徴と医療関連感染のリスク ・予防策の根拠となるガイドライン / 内視鏡室における感染予防策のポイント ・十二指腸内視鏡による感染報告	20
34	災害時における感染対策（'24）	・遠隔地の大規模地震が医療施設に与える影響 ・災害後に問題となる感染症と発症時期 ・災害時における院内感染予防策のポイント ・ライフラインの遮断から考えられること / 医療機関の日ごろの備え ・災害時の感染管理アクションカード / 災害時院内感染対策の課題	30

※ 科目名の（ ）の数字は動画撮影年を表しています。

※ 全 34 科目ありますが、1 科目から受講が可能です。

※ 視聴期間は受講開始から 3 カ月ですので、計画的にご視聴ください。

※ プログラムは予告なしに変更する場合があります。

【お問合せ先】

● 事業に関するお問合せ

東京都保健医療局感染症対策部防疫課 指導調整担当 楠
電話：03-5320-4381

● 申込・実施方法・研修内容等に関するお問合せ

公益社団法人東京都看護協会 危機管理課 担当：伊藤・仙道
電話：03-6300-5447 e-mail：kansen_2@tna.or.jp